



Title	未来共生学 6号 目次
Author(s)	
Citation	未来共生学. 2019, 6
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/72110">https://hdl.handle.net/11094/72110</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

# 未来共生学

Mirai Kyosei: Journal of Multicultural Innovation

VOLUME

6

## 目次

『未来共生学』第6号の刊行にあたって 栗本英世 | 3

### 特集 | 未来共生学の到達点と課題

#### 座談会

未来共生プログラムを振り返って 志水宏吉、稲場圭信、榎井 縁、上西啓介、  
栗本英世、司会 脇阪紀行 | 10

#### 論文

未来共生プログラムの到達点と課題 志水宏吉 | 45

選抜・審査からみた未来共生の未来 山下 仁 | 63

未来共生プラクティカルワークの到達点と課題 榎井 縁 | 73

異文化の中で働く 海外インターンシップの意義と課題 田川千尋 | 95  
学生の成長をみとどける 園山大祐  
予定調和でないからこそ 脇阪紀行

#### エッセイ

英語との出会い 英語教育でどう専門的能力が磨かれたのか ステファン ミュラー | 104

共に比べる 岩手県野田村〜トロント市の往復 5 年間をもとに モハーチ ゲルゲイ | 121

「フィールド・ラーニング」をつくる キャリア教育はだれのもの? 神田麻衣子 | 130

国際協力における支援者と被支援者の関係性

未来共生学が教えてくれた目に見えないもの 澤村信英 | 138

未来共生プログラムに携わって感じたこと 河村倫哉 | 142

未来共生プログラムを振り返って 平尾一郎 | 146

「共生・Kyosei」を考える 大場麻代 | 149

投稿からみえてくる「未来共生」 ジャーナル 6 号までを振り返って 今井貴代子 | 152

未来共生と「中間人」	崔 美善	158
「ありのままに生きる」ことと「多文化共生」 筆者のボランティア経験と映画『バグズ・ライフ』を参考に	田中 稜	162
誰もが当たり前「性の健康と権利」が享受される寛容な社会へ	金 夏琳	172
あるパティックデザイナーに目を向けて	インドネシア・ジョグジャカルタでの調査より 塚野理加	177

## 論文

アフリカにおける多言語主義の行方	沓掛沙弥香	181
哲学対話において「発言はしなくても OK」か？ 「人と共に考える場」の問い直し	桂ノ口結衣	201
移動とともにある再チャレンジ アマゾン流域部の日系ブラジル人の事例から	山本晃輔、中島葉子、児島 明	229
中国にルーツを持つ高校生と教師のコミュニケーション 教科内容に関するコミュニケーションの諸相について	王 一瓊	263
外国人生徒を「特別扱いする学校文化」の形成に関する考察 大阪府立特別枠校の事例から	伊藤莉央 王 一瓊 林 貴哉 山本晃輔	299
中国人の海外育児における『WeChat ママグループ』の役割と問題点 日本在住の中国人母親の観点から	張 茜樺	329

## 研究ノート

国内政治と向き合う “No One Will Be Left Behind” 国際通貨基金（IMF）と経済財務省らによる燃料補助金改革	大瀧千輝	357
--	------	-----

## 未来共生プログラム | コミュニティ・ラーニング

東北フィールドワーク	未来共生プログラムの原点として 志水宏吉	377
歩み続ける野田村	アジア民族造形館からのバトン	379
おわりに	渥美公秀 モハーチ ゲルゲイ 石塚裕子 山本晃輔	407

## 書評

広瀬巖 『平等主義の哲学—ロールズから健康の分配まで』 齊藤拓訳、勁草書房、2016 年	数実浩佑	410
ガート・ビースタ 『よい教育とはなにか—倫理・政治・民主主義』 藤井啓之・玉木博章訳、白澤社、2016 年	山口真美	413

倉石一郎 『増補新版 包摂と排除の教育学 —マイノリティ研究から教育福祉社会史へ』 生活書院、2018 年	伊藤 駿	416
--	------	-----

神谷悠介 『ゲイカップルのワークライフバランス —男性同性愛者のパートナー関係・親密性・生活』 新曜社、2017 年	富安皓行	420
---	------	-----

武黒真紀子 『相互行為におけるディスコーダンス —言語人類学からみた不一致・不調和・葛藤』 ひつじ書房、2018 年	中川佳保	423
---	------	-----

## エッセイ

「被災者の言葉を奪った」とはどういうことか 小説『美しい顔』をめぐる論争から	宮前良平	426
自然から見えた共生	神谷千織	433
自由のためのソーシャルメディア 共生社会への可能性	西 徳宏	436

英文要旨	440
活動記録	447
執筆者紹介	450
『未来共生学』投稿規定	457
編集後記	461